

東臼杵北部地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年8月 東臼杵農林振興局
（東臼杵北部農業改良普及センター）

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2)
 - 1 全国茶品評会佐賀大会で管内生産者が特別賞に決定
 - 2 くり出荷開始

- II 主な普及指導活動等の取組
 - 1 地域プランに基づく普及活動 (P 2～4)
 - 1 【施策1】管内水稻の最高分げつ期調査を実施
 - 2 【施策1】延岡地区もみすり業組合総会において研修を実施
 - 3 【施策1】玉ネギ部会総会
 - 4 【施策2】令和8年度認定農業者フォローアップ
 - 5 【施策2】新規就農に向けた「研修修了式」を開催
 - 6 【施策2】経営者としての心得と資金繰り研修を実施

 - 2 地域課題一覧に関する普及活動 (P 4～5)
 - 1 東臼杵北部地区女性農業者サポート協議会総会を開催
 - 2 延岡茶生産組合研修会を開催
 - 3 延岡地区営振協花き部会を開催

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 全国茶品評会佐賀大会で管内生産者が特別賞に決定

25日から28日にかけて、佐賀県で全国茶品評会審査会が開催され、釜炒り茶部門において管内の出品茶が上位入賞を果たしました。

甲斐義之氏が1等3席（農林水産省農産局長賞）を筆頭に、3点が特別賞（上位5点までに与えられる賞）を受賞し、過去にない好成績となりました。

今回、農林水産大臣賞（個人最高位）と産地賞（団体最高位）は僅差で獲得できませんでしたが、あと少しで手が届くことを強く実感したところです。

次年度に向け、悲願の産地賞獲得に取り組むと同時に、今回の品評会で得た高品質茶生産技術を、産地全体に波及させていけるよう支援を行っていきます。



支援の様子(4月)

2 くり出荷開始

17日から、北方町でJA延岡地区本部での、くりの出荷受入が始まりました。

早生品種の出荷開始は概ね平年並みで、8月下旬に入って徐々に出荷量が増えています。樹により着果量のばらつきはありますが、全体的に着果は良い傾向がみられます。今年7月中～下旬は雨が少なく生育への影響が心配されましたが、8月に入り適度に雨が降りましたので果実の階級は2L中心となっており、今のところ台風被害もなく、概ね順調に生育しています。

9月中～下旬頃に中生品種の出荷が始まり、10月初め頃まで出荷が続く見込みです。

II 主な普及指導活動等の取組

1 地域プランに基づく普及活動

1 【施策1】管内水稲の最高分けつ期調査を実施

4日、延岡地区営農振興協議会作物部会において、水稲の生育調査を行いました。当日は急な豪雨に見舞われるなど荒れた天候でしたが、関係機関の協力のもと、今年度の「ヒノヒカリ」、「ひなた舞」定点や展示ほの調査を完了しました。

今年は7月上旬の梅雨までは日照が不足し、水稲は茎が細く弱い生育となっていました。7月中旬から回復傾向で、今回の調査では草丈や茎数を平年並みに確保できており普通期水稲の生育が概ね順調に進んでいることが確認できました。

病害虫について、斑点米カメムシ類は高温の影響で多発傾向であるほか、コブノメイガも過去10年で最も多い発生であることから注意報が出されており、警戒が必要です。普及センターにおいては、各病害虫に対応した適期に防除できるよう、稲作農家に対し、防除適期の情報提供を行っています。



展示ほ

2 【施策1】 延岡地区もみすり業組合総会において研修を実施

22日、延岡地区もみすり業組合の総会及び研修会が開催され、各地区のもみすり業者に向けて今後の水稻の栽培管理と乾燥調製の注意点についての研修を実施しました。

今年は気温が高く、収穫が早まる可能性が高いことから、目視での収穫判断の方法として、粳の色が8割黄化した段階で収穫を開始することを資料を用いて説明しました。また、高温時に被害が増える病害虫として、最近、全国的に被害が増えている「イネカメムシ」などの斑点米カメムシ類についても注意喚起を行いました。参加者からは、圃場でみかけた虫の写真を提示して稲に害を与えるか等の質問があり、よりよい米の生産に向けて、もみすり業者も熱心な様子が見られました。

今後も引き続き、現地巡回等による良質米の収穫に向けた栽培管理指導を行っていきます。



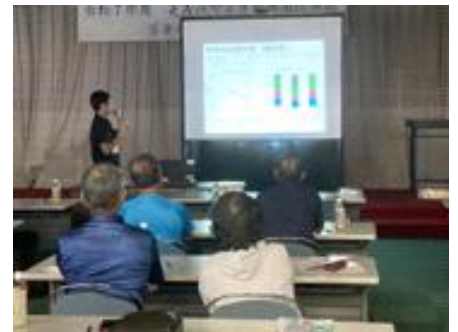
もみすり業組合研修会

3 【施策1】 玉ネギ部会総会

27日、JAみやざき延岡地区本部において、部会員と関係者約32名が出席し、玉ネギ部会総会が開催されました。

総会終了後に、普及センターから昨年作の振り返りと適期播種・定植、高温・台風対策等について研修を実施しました。特に、出荷時期の遅れ・収量低下がみられるため、適期播種・定植について、重点的に説明を行いました。

今後も、収量の増加と安定した早期出荷を目指し、巡回、研修会等の技術的支援を実施していきます。



普及センター職員による研修会

4 【施策2】 令和8年度認定農業者フォローアップ

農業経営改善計画の5年目となる認定農業者のフォローアップ巡回を行いました。

- ・26日：花き・花木2件

関係機関と連携し、対象者の現状と5年後の目標を踏まえた上で、次期の農業経営改善計画の作成を支援しました。普及センターからは、生産状況等を含む経営状況を聞き取った上で、課題解決のために何に取り組むのかを具体化できるように助言しました。

今回の活動を通し、各対象者の経営改善に向けた意欲を高めることが出来たと思われます。今後も農業者の経営改善を支援していきます。

5 【施策2】 新規就農に向けた「研修修了式」を開催

6日、JAみやざき延岡地区本部において、延岡市内の先進農家で2年間の研修を行っていた研修生の研修修了式が開催され、JAをはじめ、研修受入農家、市等が参加しました。

研修修了式は、研修生の農業経営者としての自覚を向上させる目的でJAと連携して開催しています。式の中で、研修生がどのような農業者になりたいのかを自ら説明できるように、普及センターでは将来像の具体化等の支援を行ってきました。

式では、JAみやざき延岡地区本部副本部長から研修生に修了証書が授与されました。研修生からは研修実施への感謝とともに、地域の担い手となることへの決意表明がありました。研修開始時には農業の知識や経験がほとんどありませんでしたが、これからは研修で身につけたものを活かし、営農を開始することになります。一人前の農業者となれるように、普及センターとして引き続き、関係機関と連携した支援をしていきます。

6 【施策2】 経営者としての心得と資金繰り研修を実施

24日、普及センターとJA延岡農業経営者組織協議会の共催にて、「経営者としての心得と資金繰り研修」を開催し、31名（生産者13名、関係機関18名）が参加しました。

研修目的は、経営の安定化に向けた考え方及び中長期の資金繰り表を作成することの重要性を学ぶこととし、熊本県所在の(株)農テラス代表の山下弘幸氏と宮崎県農業経営指導士の牧野恭広氏に講師をお願いしました。

講演後の質疑では、受講者から様々な質問があり、また受講後アンケートの回答では、「経営に対する考え方を見直したい。」や「資金繰り表を作成することの重要性が分かった。」といった感想が寄せられ充実した研修会となりました。研修受講者が自分自身の経営を見直しながら、改善に向けて行動することが期待されます。

普及センターとして、今後も農業者の役に立つ研修を関係機関と連携して開催していきます。



研修会

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 東臼杵北部地区女性農業者サポート協議会総会を開催

27日、普及センターにおいて、標記総会が開催され、12名（構成員5名、関係機関7名）が出席しました。

女性サポート協議会は、延岡市の女性農業者が参画する組織で構成される協議会です。普及センターは事務局として、研修会や交流会を通じて資質向上を図るとともに、女性が活躍しやすい農業環境づくりを進めています。

今回、総会にて令和7年度実績報告や令和8年度活動計画等について協議し、今後の活動について意見交換を行いました。市内の若手農家や親元就農者等との交流の提案や、若手農業者に学修・交流に参加を促したいという意見が出され、協議会の研修として、そのような農家等を視察する計画を立てることとなりました。

普及センターとしては、今後も引き続き女性農業者の能力向上に向けた有意義な活動ができるよう支援を行っていきます。



総会の様子

2 延岡茶生産組合研修会を開催

26日に、普及センターにおいて延岡茶生産組合総会が開催され、総会後、普及センターから延岡茶ビジョン作成のための研修会と延岡茶のあり方について意見交換しました。

研修会では、普及センターから全国や延岡地区における茶業状況や茶の販売・消費等の現状を説明し、その後、組合員同士で地域の抱える課題や今後の方向性について意見交換を行いました。意見交換を行う前に、将来の延岡茶に関して簡単なアンケートを行い、その回答状況を参考に話し合いを進めました。

アンケート結果において、地産地消を進めることに対する意見が多かったことから、そのことについて意見交換した結果、学校給食での推進についてや延岡茶の特徴についても意見が出されました。出された意見をもとに、今後、役員会等で協議することとしており、延岡茶の発展に向けて、今後も組合員や関係機関との協議を重ねていきます。



延岡茶生産組合研修会

3 延岡地区営振協花き部会を開催

31日、普及センターにて関係機関で構成する延岡地区営農振興協議会花き部会（参加者12名）を開催し、各課題について情報共有と協議を行いました。

情報共有では、施設花き及びシキミの生育・出荷状況、シキミのドローン防除の試験状況等について、また新規就農者の確保に向けた募集資料の作成や、今年度の視察研修、シキミのPR方法等について協議を行いました。

今後、生産者の営農意向の把握や新規参入者の受入れ品目の検討、シキミのドローン防除の効果確認・農薬の適用拡大等に向けて取り組んでいきます。